

## 「みやぎ洋上風力発電等導入研究会」の設置について

### 1 風力発電の導入の背景

- 国では長期エネルギー需要見通し（エネルギーミックス）において、2030年の電源構成として、再生可能エネルギーを22～24%に高め、このうち風力は2015年比で3倍以上に増やす見通しを示している。また、そのポテンシャルは北海道・東北などで高いとされている。
- 本県では、東日本大震災により甚大な被害を受け、現在、復旧にとどまらない、創造的な復興を目指した取組を進めており、エネルギー分野では、二酸化炭素の排出削減に加え、震災の経験をもとに、エネルギー供給源の多様化や自立・分散型エネルギーの確保を図るため、比較的、地理的優位性の高い太陽光発電の導入など、地域特性を踏まえた再生可能エネルギーの積極的な導入に取り組んでいる。
- 今後、さらなる再生可能エネルギーの導入にあたっては、未利用で大規模な再生可能エネルギー源であり、かつ、地域経済への波及効果が期待できる、風力発電の導入を目指していく必要がある。

### 2 研究会設置の目的

- 本県での風力発電は、陸上では複数のプロジェクトが民間ベースで進められているが、洋上では、沿岸地域の復興に寄与することが期待される一方で、海域利用者等との調整に十分な配慮が必要である。
- そこで、県内沿岸地域への風力発電導入の利点や課題について、県内の風況特性のほか、新たな産業創出や漁業協調などを含めた様々な角度から整理し、関係者間でそれらの認識の共有化を図りながらその可能性を探ることで、導入に向けた気運の醸成及び課題解決のための環境整備を図るため、関係行政機関や海域利用者、大学研究機関などによる「みやぎ洋上風力発電等導入研究会」を設置する。

### 3 協議事項

- (1) 沿岸地域への風力発電の導入の可能性や課題の整理
- (2) 風力発電の導入に向けた調査候補エリアの選定
- (3) 県内の風況特性を踏まえた導入モデルの検討
- (4) その他、風力発電の導入に向けた気運の醸成及び課題解決のための環境整備に関する事項

### 4 構成団体（裏面のとおり）

### 5 年次計画

- (1) 平成28年度 年3回程度開催  
（第1回 9月9日（金）開催予定）
  - ・ 調査候補エリアの検討と選定
  - ・ 先進地事例調査 等
- (2) 平成29年度 年3回程度開催
  - ・ 風況実測等の詳細調査 等

### 6 その他

風力発電の導入に向けた詳細調査実施のためのエリア抽出等にあたっては、環境省事業である「平成28年度風力発電等に係るゾーニング手法検討モデル委託事業」を活用する。

(裏面)

「みやぎ洋上風力発電等導入研究会」構成団体

	分類	機関名
1	国	東北経済産業局 資源エネルギー環境部
2		環境省東北地方環境事務所
3		東北地方整備局 港湾空港部
4		宮城海上保安部
5		仙台管区気象台 気象防災部
6	関係団体	宮城県漁業協同組合
7		宮城県沖合底びき網漁業協同組合
8		宮城県近海底曳網漁業協同組合
9		仙台湾水先区水先人会
10		一般社団法人日本風力発電協会
11		一般社団法人海洋産業研究会
12		一般社団法人東北経済連合会
13	大学・ 研究機関	国立大学法人東京大学大学院工学系研究科
14		国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
15		国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所
16		一般社団法人東北地域環境計画研究会(東北鳥類研究所)
17	電気事業者	東北電力株式会社 宮城支店
18	金融機関	株式会社日本政策投資銀行 東北復興・成長サポート室
19		株式会社三井住友銀行 東北法人営業部
20		株式会社七十七銀行 地域開発部
21	市町村	仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、女川町、南三陸町
22	県	環境生活部、農林水産部、土木部